



議員 照井 省三

■地域医療について

Q

不足している診療科の今後の見通しについて伺う。

A

市民アンケートでは、耳鼻咽喉科や産婦人科が不足しているとの回答が多い。耳鼻咽喉科は、総合花巻病院の外來開設を増やしていただくことが考えられるため、病院からの要望があれば補助を行うことを検討していきたい。産婦人科は、周産期医療の中心となる県立中部病院において、必要とされる医師数に達していない状況にある。市では、分娩を取り扱う市内唯一の産婦人科に対し補助を行



い、通常分娩に対応いただいている。

■耕作放棄地について

Q

放棄地の周辺環境に及ぼす影響について伺う。

A

農村地帯では、害虫の発生や大型獣のすみかや通り道となる危険性があり、住宅地域では、害虫の発生やタヌキ、ハクビシン等の小動物のすみかや通り道となる懸念される。対策として、農地所有者に維持管理の徹底をお願いするとともに、各地域での遊休農地の解消事例を検証し、新たな取り組みの実践を目指すこととしている。

■学校図書館の充実について

Q

学校図書館支援事業の評価および拡充について伺う。

A

学校図書館の充実を図るため、令和5年度より若葉小学校と花巻北中学校に学校図書館司書2人を配置した。両校とも図書貸し出し数が増加し、児童生徒の学校図書館の利用促進が図られていると捉えている。令和6年度から令和8年度まで小中学校を兼務する形で市内全中学校区に学校図書館司書の配置を計画しており、令和6年度の配置を考えている。



議員 照井 明子

■福祉灯油について

Q

福祉灯油の実施および市独自に上乗せを行う考えはないか伺う。

A

県では、市町村が実施する灯油助成事業に対し、基準額の2分の1を補助することを決定した。市では、この県の補助を活用し、対象世帯に対し1世帯当たり7千円の助成を実施する。また、市独自の上乗せとして、県が助成対象とする住民税非課税世帯に加え、住民税均等割のみ課税世帯も対象に助成を行う。



■用途地域変更について

Q

(仮称)花南産業団地を魅力あるものにするため、工業地域指定を行い、建ぺい率60%、容積率400%に変更する考えはないか伺う。

A

(仮称)花南産業団地の整備区域は、工業地域として指定する変更手続きを行っており、建ぺい率は60%に変更予定としているが、容積率はこれまでの状況や各種法令、基準等を踏まえ、200%にする予定としている。仮に企業から容積率400%の要望がある場合は、必要に応じて検討していきたい。



議員 小原 やすぶ

■米の高温障害等に対する支援策について

Q

高温障害等の影響により、一等米が減少することで経営への影響は大きくなるが、農家の収入減少に対する支援策について伺う。

A

米の集荷が12月下旬まで続くことから、一等米比率や収穫量などが確定し、今年産の状況が明らかになった時点において、農業関係団体の意見を伺いながら、必要に応じて農業経営の安定化につながる支援策について検討していく。



議員 小森田 郁也

■熊対策について

Q

熊出没時の出勤件数および今後の組織体制の強化について伺う。

A

出勤件数は、令和4年度が192件に対し、令和5年度は11月20日時点で476件である。今後も熊の出没が続く可能性があるため、有害鳥獣対策アドバイザーの増員、花巻市鳥獣被害対策実施隊の定員の増、岩手大学の専門家の助言をお願いすることを検討しており、現在の体制を拡充し、被害の防止に努めていく。



Q

令和5年度に行った熊出没時の小中学生の帰宅支援および令和6年度以降の支援体制の構築について伺う。

A

令和5年度は、特に市街地での熊の出没が増えたことにより、保護者による送迎が困難な場合に児童生徒の安全確保のため市が必要と判断した都度、緊急的、臨時的な代替手段として児童生徒の送迎を実施した。現行の熊出没時の対応マニュアルには、児童生徒の安全な送迎の対応方法が盛り込まれていないため、改訂版のマニュアルを整備していく。

■介護保険事業について

Q

令和6年度からの第9期介護保険事業計画における保険料額の見直しを伺う。

A

本市の人口推計によると、保険料を負担する65歳以上の高齢者人口は減少する見込みであることから、保険料基準額は上昇することが見込まれている。国からの介護報酬の改定内容などを受け、保険料を示すこととなるが、介護給付費準備基金の活用をすることもに、介護予防の推進により、可能な限り保険料上昇の抑制を図っていく。



議員 櫻井 肇

■国民健康保険事業について

Q

全国的に国保税を引き上げる自治体が目立つが、令和6年度に税率改定を行う予定があるか伺う。

A

国保税率は、平成30年3月に花巻市国民健康保険条例を改正し定めたものであり、令和6年度も同じ税率とすることとしている。しかしながら、平成30年度の国保税率の引き下げ以降、歳出が歳入を上回り、毎年度基金を取り崩している状況であることから、基金の残高状況によって、国保税率の見直しも検討していく必要があると認識している。



議員 似内 一弘

■花巻市まちづくり総合計画について

Q

第二次花巻市まちづくり総合計画策定後の市民への周知について伺う。

A

長期ビジョンについて、市民が見やすく親しみやすい概要版を作成し、全世帯への配布を予定している。また、長期ビジョンを紹介する15分程度のスライド動画を作成し、市ホームページで公開することを検討しており、総合計画が身近なものとして捉えていただけるよう周知に努めていく。



■リノベーションまちづくりについて

Q

花巻リノベーションまちづくり構想策定後の取り組みに係る評価および今後の方針について伺う。

A

構想の中で描かれている将来像の一部の実現のためのワンステップとして、社会実験の実施および現在の取り組みにつながった点の一つの成果と捉えている。また、年に数件ではあるが、まちなかに新規参入した事業者がいることも一定の成果であり、今後も中心市街地の空き店舗や公共空間の活用を通じて、民間事業者とともに支援をしていく。